

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 208

事務事業名	自立支援移送サービス事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-100
担当者名	塚原 麻衣	内線	89-202

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020202	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進
関連施策		

会計	介護保険事業特別会計		
款	3	地域支援事業費	
項	3	包括支援・任意事業費	
目	4	任意事業費	
事業コード	030302	自立支援移送サービス事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	大村市高齢者保健福祉計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	65歳以上の高齢者のうち高齢者活動支援施設の利用について移送サービスが必要な者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	公共交通機関を利用することが困難な在宅の高齢者に対し外出を支援することにより、健康づくりや閉じこもり防止へと繋げる。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	【任意事業分】 地域包括支援センター及び居宅介護支援事業者が作成する居宅サービス計画において、高齢者活動支援施設及び地域ふれあい館を利用する際、移送サービスが必要とされたものに対して施設利用のための送迎を行う。		
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等	大村市自立支援移送サービス事業実施要領		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 移送サービス実施回数 (高齢者活動支援施設)	計画値	208	194	190	208	
		実績値	194	190	208		
	達成度	%	93.3%	97.9%	109.5%		
成果指標	① 移送サービス延べ利用者数 (高齢者活動支援施設)	計画値	1,040	1,040	662	639	
		実績値	796	662	639		
	達成度	%	76.5%	63.7%	96.5%		
②		計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	860	904	978	2,885	2,688	2,688	2,688	0
国庫支出金	339	352	223	1,125	672	672	672	
県支出金	170	181	124	563	336	336	336	
地方債								
その他	181	190	508		753	753	753	
一般財源	170	181	123	1,197	927	927	927	
② 人件費(千円)	954	1,511	972	855	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.12	0.20	0.13	0.11	対象者の移送	対象者の移送	対象者の移送	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)			0.03	0.03				
フルコスト(①+②千円)	1,814	2,415	1,950	3,740				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	前年度より登録者数は増えたものの、利用回数は減少している。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市が設置する介護予防拠点は伊勢町ふれあい館、中地区ふれあい館及び地域ふれあい館があり、周辺部の利用促進のため本事業の必要性は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市が設置する介護予防拠点施設の利用者を対象としていることから、市が主体的に事業を実施することは妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	計画値に対して約9割の方が利用し、介護予防事業参加に繋がっているため、一定の効果は得られている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	移送サービスを利用することにより高齢者活動支援施設の利用が促進され、閉じこもり防止等の予防効果に結びついていることから、高齢者の健康づくりの効果は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	事業受託者(大村市社会福祉協議会)において利用者の調整(相乗り)を行うなど、効率的な事業の実施に努めている。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	相乗り料金として100円は妥当である。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	新たな拠点施設も増え、新規利用者の申し込みが増えることが想定されるため、現利用者状況を把握し、移送サービスの手段について検討する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	住み慣れた地域における介護予防事業への参加が促進される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。